

## インティマレーザー治療の説明と同意書

### 【治療の目的】

インティマレーザー治療は、レーザー光を膣内、尿道及び外陰部に照射し、減少したコラーゲンの産生を促進します。これにより主に以下の病態・疾患について効果が期待されます。

- ・膣・膣口の弛緩(お湯漏れなど)、狭小
- ・腹圧性尿失禁(くしゃみや咳、笑ったり、運動した時におこる尿漏れの改善)
- ・膀胱直腸脱
- ・萎縮性膣炎(加齢・ホルモン低下による膣の痛み・かゆみ、性交痛などの改善)

また同じレーザー機器を用いて、

- ・尖圭コンジローマ
- ・子宮膣部びらん
- ・会陰切開縫合部の違和感
- ・薄毛、産後の脱毛

や

- ・外陰部、乳輪などの黒ずみ

を除去するホワイトニング治療です。

### 【治療の方法】

インティマレーザー治療では、以下の手順で治療を行います。

- ① 写真撮影：治療後、フォローアップの際に比較するのに必要です。患者さんの同意なしに、他の患者さんへの説明はもちろんですが、学会発表など学術的使用も行いません。
- ② 麻酔：膣の奥の部分は熱や痛みを感じにくいですが、膣口付近は熱に敏感なため、レーザー治療の前に麻酔クリームを塗付し、約10分待ちます。レーザー治療中は、部分的に少し熱さを感じる程度ですが、痛みを感じる場合には遠慮なくおっしゃってください。
- ③ レーザー照射：膣内、尿道口周囲と外陰部などの患部にレーザーを照射します(15～20分程度)。
- ④ 写真撮影：治療後の状態を記録するために必要です。

### 【治療のサイクル・回数】

4～8週間間隔で症状に合わせて1～3回程度治療を行うと上記の症状が徐々に改善します。症状の強い方や膀胱直腸脱では、4回以上行う場合もあります。

これら一連の治療後は、1年～2年に1回程度、定期的に治療を継続して効果を維持することを勧めます。

当院では、医師の診断のもと、最も効果的な治療が行えるよう、症状に合わせてレーザーの出力・設定・治療回数などを調整しています。

### 【治療前の注意点】

- ・ 光過敏症・てんかん・ヘルペス・局所麻酔アレルギーなどの既往症・症状がある場合はレーザー治療を行うことが出来ません。
- ・ 細菌性膣炎や重度の萎縮性膣炎がある場合、膣炎の治療後に後日レーザー治療を行います。
- ・ 婦人科検診を含め、婦人科診療を同日に行うことはできません。
- ・ レーザー治療の効果は、通常、数週間かけて徐々に表れますが、効果の現れ方には個人差がありますのであらかじめご了承ください。

【治療後の注意点】

- ・ インティマレーザー治療後は、治療の刺激によって水様性のオリモノが増加することがありますが、異常ではありません。1週間程度で治ってきますので、オリモノシートなどで対応してください。
- ・ 尿失禁の治療後は、治療効果の一環として一過性の切迫性尿失禁が起こることがあります（約3%）。1週間から3週間程度で治ってきますので、オリモノシート・尿もれパットなどで対応してください。
- ・ 治療後は、以下のような症状が現れることがあります。通常時間とともに改善しますが、気になる症状があった場合には、担当医までご連絡ください。
  - ✓ 発赤・浮腫・部分的熱感（100%、3日程度）
  - ✓ 治療中の軽度の疼痛（14.7%、治療中）
  - ✓ 治療後の軽度の疼痛・ひりひり感（4.3%、数時間～数日）
  - ✓ 微量の出血（3.7%、数時間）
  - ✓ 一時的な切迫性尿失禁（腹圧性尿失禁治療時 3.2%、1～3週間）
  - ✓ 軽度の熱傷（1.6%、数日～1週間）
- ・ インティマレーザー治療の当日は、シャワーのみにして浴槽での入浴は控えてください。
- ・ インティマレーザー治療の当日から3日間は、性行為・タンポンの使用など腔内に何かを挿入することは避けてください。
- ・ ホワイトニング治療を行った場合、患部によっては1週間程度ヒリヒリするため、処方された軟膏を指示通り使用してください。

産婦人科クリニックさくら

説明医師： \_\_\_\_\_

上記の内容を理解し、レーザー治療を受けることに同意いたします。

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_